



令和3年度
「風さやか」通信 (第3号)



令和3年産「風さやか」の生育状況について③

県内は8月中旬以降、全県的に大雨、低日照となり、これまでの高温傾向から一転して低温傾向となっています。この影響で枝梗いもちや靱いもち病がみられます。

出穂期は平年と比較して早い地域もあるものの、生育は概ね平年並みとなっています。

9月に入ってから低温と日照不足の傾向が続いており、収穫時期が予定よりも遅くなることが予想されます。「風さやか」の収穫開始の目安である登熟積算気温(1,100℃に達する5日前)及び帯緑色籾歩合(10~5%)を参考に、収穫期を適切に判断してください。



帯緑色籾 帯緑色籾 黄化籾
緑色の籾の割合(帯緑色籾歩合)が10%
になったら収穫開始のサインです!

ららぽーと名古屋みなとアクルスで「中野市フェア」を開催



新井さん
お客様に説明をする

名古屋市港区の大型商業施設「ららぽーと名古屋みなとアクルス」内にある「しなまつり」において、8月4日~8月10日の1週間にわたって「中野市フェア」が開催され、9日・10日の2日間、(有)小柳農園代表の新井康寛さんが店頭で「風さやか」のPRを行いました。

当日は新井さんが丹精込めて栽培した「風さやか」と「コシヒカリ」の2種類を用意し、来店された方に試食してもらいました。

試食の感想は世代を問わず「風さやか」のさっぱり感を好む方が多かったとのこと。味噌カツやひつまぶしなど、様々な「名古屋めし」に合いそうですね!

「コシヒカリ」と
「風さやか」をそれぞれ用意



※「風さやか」推進協議会では、生産者・実需者等とともに長野県オリジナル品種「風さやか」の生産振興を図り、ブランド化を目指しています。今年度も定期的に「風さやか」通信を発行していきますので、現地の皆様の声も是非お聞かせください!